

令和4年度 奈良県立大和広陵高等学校 学校評価計画表

【高等学校用】

年度	令和4年度（中期計画1年目）
本校の使命（スクール・ミッション）	スローガン <スポーツ（部活動）をとおしてのづくり> ・教育活動を通して、一人一人の進路実現、自己実現を目指します ・体育活動、スポーツ活動を通して、健やかな身体、健全な精神を育てます ・地域での活動や社会参加活動を通して、地域と融合し地域の活性化に寄与する人材を育てます
年度重点目標	(1) 学習意欲を喚起し、確かな学力の育成を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する。 (2) ルールやマナーを守ることの大切さを理解させ、社会で自立するための基本的な力を身に付けさせる。 (3) 清掃活動をおとして協調性を育成すると共に、みんなで使う場所を大切に公共心を養う。 (4) 部活動やボランティア活動等に積極的に参加させることを通して、豊かでたくましい心身の育成を図る。 (5) 学校評価の推進を図る。 (6) 情報の収集及び広報（情報発信）の強化を図る。 (7) 「学校運営協議会（コミュニティースクール）」を充実させ、地域との連携・協働を図り、地域と共にある学校づくりを進める。

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 ・学業をはじめ、学校生活に前向きに努力できる生徒 ・何事においても、仲間と協調して取り組める生徒 ・中学校において、学級活動、生徒会活動、部活動等に積極的に参加し、高校入学後も継続して活動する意思をもっている生徒 ・体育活動、スポーツ活動に興味、関心のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 ・生徒が主体的に学び、確かな基礎学力を培う授業の実践 ・キャリア形成において、生涯を見通したコミュニケーション力、表現力、問題解決力の育成を目指した教育活動の実践 ・地域での活動や社会参加活動を通して、他者尊重の姿勢を育み、自己肯定感・有用感の醸成を図る教育活動の実践 ・将来、地域や社会に貢献できる人物の育成を目指し、スポーツ・文化的活動を通して探求的な活動や地域への支援・交流活動を行う
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 ・キャリア形成を目指した学習を通して、自ら考え、学ぶ力と探究する心 ・心身を鍛え、進路を拓く確かな学力を身に付け、将来地域に貢献していく志 ・スポーツ、文化的活動を通して培う高い人間力

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標（A）	計画期間における具体的目標（B）	令和4年度末の目標値等（C）	令和4年度末の状況（D）	自己評価（E）	学校関係者評価（F）
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	・体力の向上と運動習慣の定着	・生徒アンケートにおいて、「スポーツテスト、日々の体育授業のトレーニングを通して、前年に比べ体力の向上がみられた」回答80%以上	・生徒アンケートにおいて、「スポーツテスト、日々の体育授業のトレーニングを通して、前年に比べ体力の向上がみられた」回答60%以上			
	・部活動の活性化	・新入生、部活動加入率90%以上 ・部活動集会の実施、運動部月に1回・文化部学期に1回、合同で学期に1回の開催 ・地域の小・中学校の部活動やスポーツ団体等との交流	・新入生、部活動加入率50%以上 ・部活動集会の実施、運動部月に1回・文化部学期に1回、合同で学期に1回の開催 ・地域の小・中学校の部活動やスポーツ団体等との交流			
	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻、早退数の前年度比10%減少 ・生徒アンケートにおいて、「適切な言葉遣いで、あいさつ・敬語の使用ができる」回答85%以上 ・清掃活動の充実、運動部と文化部・各委員会等が定期的に合同清掃を実施	・欠席、遅刻、早退数の前年度比10%減少 ・生徒アンケートにおいて、「適切な言葉遣いで、あいさつ・敬語の使用ができる」回答85%以上 ・清掃活動の充実、運動部と文化部・各委員会等が定期的に合同清掃を実施			
	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・観点別評価の充実	・生徒アンケートにおいて、「授業に意欲的に取り組んだ」回答85%以上 ・生徒アンケートにおいて、「学習の成果がわかりやすく評価され、学習を進めるために役立っている」回答85%以上	・生徒アンケートにおいて、「授業に意欲的に取り組んだ」回答85%以上 ・生徒アンケートにおいて、「学習の成果がわかりやすく評価され、学習を進めるために役立っている」回答70%以上			

2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはくむ	・魅力と活力のある学校づくり	・野外活動、水上、スキー（3級検定合格10%以上）等のスポーツ実習の充実についての生徒満足度80%以上 ・体育大会、球技大会等行事の充実についての生徒満足度80%以上	・野外活動、水上、スキー（3級検定合格10%以上）等のスポーツ実習の充実についての生徒満足度70%以上 ・体育大会、球技大会等行事の充実についての生徒満足度60%以上			
	・オンライン教育の推進	・ICTを活用した指導の充実、教員アンケートにおいて、授業でのデバイス使用80%以上 ・教員の情報研修を年間2回以上実施し、指導力の向上を図る	・ICTを活用した指導の充実、教員アンケートにおいて、授業でのデバイス使用80%以上 ・教員の情報研修を年間2回以上実施し、指導力の向上を図る			
3. 働く意欲と働く力をはくむ	・キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実	・キャリアパスポートを通して、目的意識を明確にし、自己実現に向かう姿勢を育てる（4月実施の進路希望調査における「未定」回答者の50%減）	・キャリアパスポートを通して、目的意識を明確にし、自己実現に向かう姿勢を育てる（4月実施の進路希望調査における「未定」回答者の25%減）			
	・インターンシップの推進	・一般企業、役所、スポーツ施設等との連携を強化し、生徒の職業意識を高める取組を充実する ・インターンシップなど就業体験への参加生徒を現状比200%に増大させる	・一般企業、役所、スポーツ施設等との連携を強化し、生徒の職業意識を高める取組を充実する ・インターンシップなど就業体験への参加生徒を現状比150%に増大させる			
	・地元企業との連携の推進	・進路説明会への地元企業の参加増加を促進 ・1年フィールドワークでの地元企業とのコラボ企画を目指す ・参加生徒の満足度80%以上	・進路説明会への地元企業の参加増加を促進 ・1年フィールドワークでの地元企業とのコラボ企画を目指す ・参加生徒の満足度75%以上			
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	・学校運営協議会による活動基盤の構築	・学校運営協議会の委員が主導して、年間2回以上を開催し、地域との連携を推進する	・学校運営協議会の委員が主導して、年間2回以上を開催し、地域との連携を推進する			
	・地域理解を深める取組の推進	・奈良TIMEのフィールドワークなどの活動を通して、地域理解を深める。生徒アンケートにおいて、目標達成に関する満足度80%以上	・奈良TIMEのフィールドワークなどの活動を通して、地域理解を深める。生徒アンケートにおいて、目標達成に関する満足度75%以上			
	・社会教育の推進	・地域の関係機関との連携を強化し、地域のイベント、施設・企業との連携事業を立ち上げる	・地域の関係機関との連携を強化し、地域のイベント、施設・企業との連携事業を立ち上げる			
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	・人権教育の推進	・人権意識の向上と人間関係づくりの充実 ・生徒アンケートにおいて、「人権HR活動を中心とした校内活動や地域協働活動を通して、人権意識が向上した」回答80%以上	・人権意識の向上と人間関係づくりの充実 ・生徒アンケートにおいて、「人権HR活動を中心とした校内活動や地域協働活動を通して、人権意識が向上した」回答80%以上			
	・いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	・いじめ防止基本方針の点検・見直しと、いじめアンケートの年間2回以上の実施 ・人権HR活動を中心とした豊かな情操の育成	・いじめ防止基本方針の点検・見直しと、いじめアンケートの年間2回以上の実施 ・人権HR活動を中心とした豊かな情操の育成			
	・特別支援教育の推進	・カウンセリング、特別支援（通級）指導におけるスクリーニング会議の実施 ・ストレスチェックアンケートを年2回実施 ・カウンセリングだよりの発行、生徒対象年間10回、保護者対象年間1回	・カウンセリング、特別支援（通級）指導におけるスクリーニング会議の実施 ・ストレスチェックアンケートを年2回実施 ・カウンセリングだよりの発行、生徒対象年間10回、保護者対象年間1回			

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--